



## 「あの」スポーツも支える「Made in すみだ」のこと

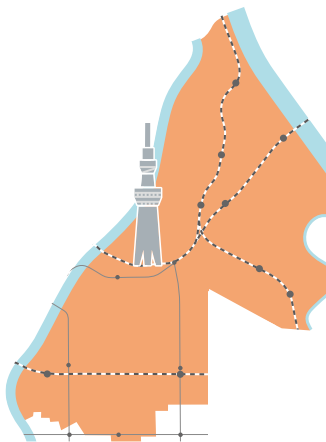
スポーツをプレーする際や、観客として観戦する際に、どんなことに注目していますか？

自分でプレーする際は、目の前のボールやチームメンバーの動きに、観戦する際には、ハッとするような動きで活躍する選手に、意識を集中させる方も多いと思います。

そうした場面で、あなたが日ごろ身につけているウェアや、憧れの選手が使用しているスポーツ器具に目を向けてみると、もしかすると、「Made in すみだ」の製品がこっそりと、時には大々的に使用されているかもしれません。

実はここ、墨田区は江戸時代から続くものづくりのまち。ほかにはない視点・技術を通じて、国内外のスポーツを支える製品が、日々生み出されています。

この冊子を通じて、その世界を少し、のぞいてみませんか？

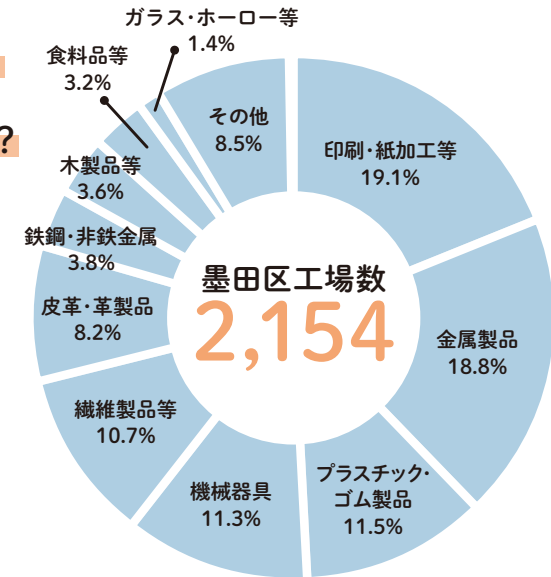


## 「ものづくりのまち すみだ」の特徴・歩みをのぞく

### 01 そもそも、墨田区はどんな「ものづくりのまち」？

「デニムの町」「焼き物の町」のように1つの分野ではなく、様々な分野の職人が集まる「ものづくりのまち」!

工場数が東京23区で2番目に多い墨田区。東京スカイツリー®や錦糸町など、一見すると暮らす人が多いエリアにも、ものづくりの工場が広がっています。



墨田区における工場数の業種別構成比  
 (「2016年経済センサス活動調査」より)

### 地域で見ると、だまかにこんな特徴が

#### 北部・向島地区

東京スカイツリーの北側



プラスチック製品  
 ((有)チバプラス)

皮革・革製品  
 ((有)T.M.Y's)  
 MAP E-4



#### 南部・両国地区

東京スカイツリーの南側



繊維製品  
 (久米繊維工業(株))  
 MAP C-6

印刷・紙の加工  
 ((株)東北紙業社)



## 02 どうして「ものづくりのまち」に?



江戸時代・レンガ作り

### 江戸時代～

- ✓ 染物などの製造や、物を運ぶために必要な水運が整っていた(隅田川など)
- ✓ 江戸の中心地、日本橋や浅草にも近かった  
⇒ **ものを作るのにぴったりの場所だったことで、次第に職人が集まるまちに。**



明治末頃・花王石けん製造工場



1890年発売・花王石けん **MAP** D-6

### 明治時代～

- ✓ 産業革命が日本にやってくる
- ✓ 江戸時代に続き、東京の消費を支えるため、職人に加え、機械でものを製造する工場も増加  
⇒ **墨田区は「近代産業発祥の地」としても発展していく。**

★この時、石けんづくりや軍向けの靴下を作るニット製造など、現代につながる産業も生まれている。

### 大正時代～

- ✓ 関東大震災(1923年)では南部のほぼ全てが焼失するなど、災害等でたびたび大きな被害を受けた墨田区。
- ✓ 戦後、大きな工場は区外に移転していった一方で、軟式野球ボールを作るナガセケンコー(株)など、様々な業種の中小企業が集まるまちになっていく。  
⇒ **その結果、区内の工場数は、1970年にはピークの9,703事業所に。**

ケンコーボール  
(ナガセケンコー(株))



1950年代・工場がひしめく墨田区

## 03 今までとこれから

1970年にピークを迎えた墨田区の工場数は、その後、工場拡大を目的とし、より広い土地を求めた企業の区外移転などが原因となり、減少し始めます。

まちを代表する「ものづくり」を守るため、中小企業を支援する意思を表した条例を、全国で初めて墨田区が定めます(1979年)。そして、ものづくり事業者と区が一体となり、新たな視点でものづくりの価値を伝え、育てる動きが生まれていきます。

### すみだモダン



こころ、ゆさぶる。  
**すみだ  
モダン**

事業者の活動・商品のブランド認証やコミュニティ運営、商品開発等を展開しています。

### 新・産業共創施設



社会課題に取り組むスタートアップ企業とつながる共創の場を錦糸町にオープンします。 **MAP** D-6

### すみだ3M運動



職人自ら製品の歴史や技術を伝え、より素敵なものづくり文化を育むことを目指す取組です。

### ものづくりを体感できるイベント



すみだガラス市やすみだ探究工房など、様々なイベントが開催されています。

各取組を、もっと知りたい方はこちらへ!





## アパレル



## フットマーク株式会社

性別を意識することなく、誰もが快適に着用できることを目指した「男女共用セパレート水着」。水中でも生地が体に密着せず泳ぎやすい「はっ水加工素材」や「裾めくれ防止機能」など、安心して泳げる機能も充実しています。一人ひとりの「ほしい」に寄り添った製品開発を続けてきた、フットマークの視点とノウハウが詰まった商品です。

フットマーク株式会社  
佐野 玲子さん

水泳帽子・国内シェアNo.1の会社が手がける、快適さを追求した製品です

## 企業 info

MAP B-7

住 所 墨田区緑 2-7-12

小さな博物館(要予約)へぜひお越しください！  
#フットマークギャラリー



▲WEB



▲Twitter

## POINT ものづくりの歩み

明治時代から、生地作りから縫製まで、繊維関係の様々な企業が活動していた墨田区。1946年の創業時、おむつカバーを製造していたフットマークでも、多くの縫製職人が活躍していました。当時使用していたミンヤ、介助と介護を組み合わせた「介護®」という言葉を発明した社の歴史は、小さな博物館で知ることができます。

## 金属製品



## 株式会社 ウエサカ ティー・イー

6回のオリンピック、国内外のトレーニング施設で使用されている、UESAKAのウェトリフティング製品。バーを持ち上げる際に、アスリートの身体負担を減らすグリップ構造や、それを可能にする高い技術力が評価されています。バーベルを下ろす際の衝撃から床面を守るプラットフォームは、東京2020オリンピックにも採用されました。

株式会社 ウエサカ ティー・イー  
上坂 忠正さん

世界レベルの高い品質・安全性で、プロ選手を支えています

## 企業 info

住 所 墨田区本所 4-10-1 (仮事務所)

ご自宅向けの注文も増えています！  
#UESAKA



▲WEB



▲Instagram

## POINT ものづくりの歩み

戦後、輸出用製品のニーズの高まりから墨田区で大きく増加した業種の一つが、金属製品分野の企業です。木エスポーツ用具から、金属製品製造に舵を切ったウエサカティー・イー社の前身・上坂鉄工所は、1947年、駐留米軍からの依頼がきっかけで、バーベル製造を始めました。

## 伝統工芸



日常用からプロ向けまで、あらゆる用途に応える足袋(たび)です

## 向島めうがや (みょうがや)

丁寧なヒアリング、30項目のサイズ計測を経て作られる、フルオーダーのお誂(あつら)え足袋。試合に集中できるよう、こはぜ(留め金)を増やした弓道用や、治療用具の上からも、足をしっかりと包み込む力士用など、生地やフィット感、縫製を変えながら製作しています。履く人にとってのベストを追求し生み出される、最良の足袋です。



向島めうがや  
石井 健介さん・石井 芳和さん

## POINT ものづくりの歩み

関東大震災後、急激に都市化した向島でしたが、繁華街の浅草に近く、向島花街の存在などもあり職人も増加しました。現在も、墨田区伝統工芸保存会をはじめ、多くの職人が活躍しています。慶応3(1867)年創業「向島めうがや」、関東大震災後、浅草から向島に移転しました。現在、お誂え足袋の工房は、全国で3軒ほどだそうです。

## 企業 info

MAP C-4

住 所 墨田区向島 5-27-16

催事での出張オーダーも実施！  
#工房ショップ



▲WEB

## 皮革・革製品



世界にひとつ、自分に合った野球グラブを頼める工場です

## GRIT (グリット)

使う人の成長・好みに寄り添った製品を作りたい、という思いから、オーダーのグラブ・ミットを製作しています。GRITの製品は、革の厚み・縫製の手の当たり具合などの細やかな使用感や、革のカラーリング・刺繍も自分スタイルを目指せます。購入後に、職人へ気軽に手入れ・修理の相談可能な手厚い応援体制も、大きな魅力です。



GRIT  
佐々木 一行さん

## POINT ものづくりの歩み

スポーツ製品の問屋が多く、革製品の職人が多かった墨田区で1962年に創業した東駒スポーツ用品(株)。2020年の会社代表の引退まで、質の高い野球グローブを作り続けました。同社の職人だった3名が、東駒スポーツ用品(株)で培った高い技術を携え、2020年4月に創業したのがGRITです。

## 企業 info

MAP C-7

住 所 墨田区緑 4-13-4 つるやビル 101

既製品グラブも販売！  
#他社製品の修理も実施



▲WEB



▲Instagram



まだまだたくさんあります



1950年、日本で生まれたサイクルウェアブランドパールイズミ。日本代表チームのウェアも手がけている。



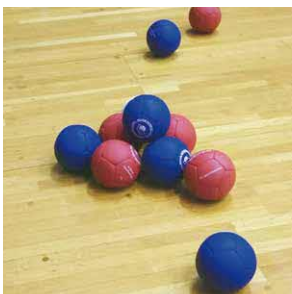
ダンサーの要望から生まれたCreatorsの「すみだデニム」。動きやすく、履き心地も抜群なデニム風スウェットパンツ。



バタフライなどの主要卓球メーカーに採用されている、クマザキコルクのペンホルダーラケット用グリップ。



ブレーキの仕組みを見て、体験して学べるブレーキ博物館。24時間カーレースを走り抜けた実物も展示されている。MAP C-4



パラリンピック競技のボッチャ。軟式野球ボールで知られるナガセケンコーは、1990年から普及に取り組んでいる。



学校体育からプロ選手の大会まで、幅広い使用場面・環境に対応する、舟岡製作所のバスケット装置。



浅草寺などの錆（かざり）金具を手がける塩澤製作所の伝統技術で生み出される、縁起柄のゴルフマーカー。



昭和初期の名力士、巴渦（ともえがた）が創業した店の「巴渦ちゃんこ」は、相撲部屋の歴史を受け継ぐ一品。MAP A-7



国内で唯一、トロフィーのメッキ加工を行う岩本製作所。総合格闘技RIZINなど、スポーツ大会のトロフィーも多数手がける。

すみだものづくりまちあるき MAP

冊子で紹介・訪問できるスポット

- 01 LEATHER LAB TOKYO/T.M.Y' s(E-4)  
※電話 (03-5630-8189)・メールでの事前予約制
- 02 久米繊維ファクトリーショップ/久米繊維工業 (C-6)
- 03 花王ミュージアム (D-6)  
※電話 (03-5630-9004) での事前予約制
- 04 新・産業共創施設 (2023年10月開設予定) (D-6)
- 05 フットマークギャラリー/フットマーク (B-7)  
※電話 (03-3846-3382) での事前予約制
- 06 向島めうがや (C-4)
- 07 GRIT(C-7)
- 08 ブレーキ博物館 (C-4)  
※電話 (03-6657-0347) での事前予約制
- 09 ちゃんこ巴渦 (A-7)

